

「子どもたちの今の幸せの中に教育はある」

～幼児教育新時代に寄せて～

今世界的に乳幼児期が注目されています。その時期の成育環境（保育の質）が、子どもの人生、さらには社会の活力ある発展にとっても、少なからぬ影響を与えることがわかり始めたからです。また、少子社会の中で、子育て家庭への社会的サポートは地域社会の存続にかかわる重要テーマになっています。

いかなる環境やサポートが、子どもの成長や家庭にとって適切と言えるのか、研究の到達点を踏まえて一緒に考えてみたいと思います。

- ◆日時:平成28年7月1日(金)15:00～16:45 入場開始 14:30
- ◆場所:会津大学短期大学部 310教室
- ◆締切:平成28年6月21日(火) 定員100名まで
- ◆入場無料

■講師

【プロフィール】

専門 乳幼児の保育と教育

「保育の質」に関する研究がテーマ

学歴 東京大学教育学部・同大学院修了

主な著書

「保育の質を高めるー21世紀の保育観・保育条件・専門性」2006年

「学びの物語の保育実践」2010年

「子どもの心が見えてきたー『学びの物語』で保育はかわる」(福島大学附属幼稚園と共著)2011年 日本保育学会文献賞受賞

「保育の場で子どもの学びをアセスメントするー『学びの物語』の理論と実践」(マーガレット・カー著 鈴木佐喜子と共訳)2013年 (以上、ひとなる書房刊)

福島大学(人間発達文化学類)

おおみやいさお

大宮勇雄 教授

